



豊臣秀吉(1536~1598)

- 豊臣秀吉…尾張(愛知県)の足輕の子。戦国武将となり天下を統一。
- 織田信長に仕えて有力武将となり、信長の死後、明智光秀を討って、信長の後継者となった。
- 天下統一の根拠地として石山本願寺あとに大阪城を築き、関白の位を得、豊臣姓として、築城から7年後に天下を統一した。
- 太閤検地と刀狩を行い、武士の支配する社会の仕組みを整えた。
- 中国(明)侵略を計画し、朝鮮を侵略。その途中で病死した。



太閤検地…一定の基準で全国の田畑を測量し、農民を検地帳にのせた。
刀狩…農民が武器を持つことを禁じ、農業だけはげむようにさせた。

じゅうよう ご かん じ
重要語漢字ドリル

豊臣秀吉 太閤検地

刀狩 大阪城 石山本願寺

のうみん などからあつめられた身分の低い兵を足輕というんだよ。



もん だい
問題

つぎ と
次の問いに答えましょう。

- 秀吉は、だれの家来となりましたか。 [織田信長]
- 秀吉は、天下統一の根拠地として、何という城を築きましたか。 [大阪城]
- 秀吉は、朝廷から何という位を得ましたか。 [関白]
- 秀吉が、全国の耕地のよしあしを調べたことを何といいますか。 [太閤検地]
- 秀吉が、農民から武器を取り上げたことを、何といいますか。 [刀狩]

